

# 沙羅の樹文庫だより

**文庫あれこれ**◆昨日 14 日は緑風が木々を吹き抜け爽やかな五月晴れでした。反転して今日は雨の一日、でも、緑の草木に静かに降り注ぐ慈雨という感じです。◆5月の連休最後に夫さんから突如の誘いで、2つの秘湯(福島のぬる湯温泉と米沢の滑川温泉)に行ってきました。2つとも行けども行けども着かない一軒宿。寂れ加減もよろしく束の間気分転換できました。熱湯好きの私には、ぬる湯はどうも。表紙の写真はその帰途撮影したものです。福島の実、安心して食べられる日が早く来ますよう。◆2日目、チェックインの時間よりだいぶ早く着き、夫は着替えて山道をジョギング。突然、雲行きがあやしくなり、雷鳴。30分ほど

し  
て夫が車に戻った途端、2センチほどの雷がパンパンと車体を打ちつけ始めました。このあと、つくば市ほかに竜巻が起こったのですね。表紙のブラウニングの詩とはほど遠いうらめしい春の空…。◆アートフェスティバルに参加されている会員の方々はお忙しいことと存じます。でも心浮き立つ想いもあることでしょう。◆フェスティバルに参加するのにやはり何か趣向を、でも付け焼刃ではなかなか。2、3日前に来て、文庫にある昔話えほんのリストを作ってみました。集中して集めたわけなし、パラパラとあるだけなのですが、それでも、世界中、ずいぶんたくさんの昔話絵本がありました。今回は絵をみていただきたいと思います。素晴らしい絵がたくさんあります。昔話はよみかせより語るほうが、と思っはいるのですが、やっぱり絵の力のすごさを感じさせられました。この機会にどうぞ大人もどうぞ楽しんでください。◆明日から開館、会員のみなさんが見えるのは、やはり週末でしょうね。旅の人は何人くるかなあ。◆19日は、若葉のころのおはなし会、今回は、地元私たちの上達振りを聴いていただこうと思っています。そのあと、好きな本についておしゃべりしましょう会を予定してま

本の返却について：返却予定日にやむを得ず来られない場合は、連絡を入れて、次の月には必ず返却して下さるようお願いいたします。順番を待っている方もいますし、本はみんなのものでありますから、ね。♥♥♥

## ◆2012・文庫の催し物◆

### ✿若葉のころのおはなし会✿

5月19日 午後5:30~7:30(大きい人向け)  
1部：昔話+創作  
2部：読んだ本について語りましょう会

5月20日 午前10:30~11:30(子ども向け)  
読み聞かせ・子どもたちのおはなし

### ★海の日のおはなし会★

7月15日 午後5:00~7:30 伊豆高原駅・大楠の下

### ♥文庫開館記念子どものためのおはなし会♥

7月16日 午前10:30~12:00

### ♪秋の夜長のおはなし会♪

10月20日 午後5:00~7:00(おとなの人向け)

### （秋のおはなし会）

10月21日 午前10:30~11:30(子ども向け)

### これからの開館予定日

- ◆5月は**変則** 16日(水)~20日(日)開館
- ◆6月は**通常** 16日(土)、17日(日)
- ◆7月は**通常** 14日(土)、15日(日)
- ☆15日は夕から、海の日のおはなし会☆  
海の日 16日(月)は、開館記念日
- ◆8月は、15日(水)~19日(日)長期開館
- ◆9月は**通常** 15日(土)、16日(日)
- ◆10月は**通常** 20日(土)、21日(日)
- ◆11月は**通常** 17日(土)、18日(日)

※文庫の時間：土曜日は午後2時~5時、日曜日は午前10時~午後3時

※毎月開館日の日曜には、「子どものための小さなおはなし会」があります。

午前10:30~11:00

### 《楽しんで読み聞かせ・頑張っておはなし》

おはなし・沙羅の勉強会は  
毎月第3土曜 11:00~13:00

連絡先：沙羅の樹文庫 ☎0557-51-3737



梨の花



桃の花



林檎の花

### 春の朝

時は春、  
日は朝、  
朝は七時、  
片岡に露みちて  
揚雲雀なのりいで、  
蝸牛枝に這い、  
神、そらに知ろしめす、  
すべて世は事も無し。  
(ブラウニング詩/上田敏訳『海潮音』より)

## 最近お借りした本についての読後感

2012年5月14日 By 森林浴

「人間 昭和天皇 上・下」高橋 紘著 講談社刊

2011年12月刊

著者の高橋氏は共同通信社の宮内庁担当記者として永年昭和天皇や皇室に接触があった人。食道癌を病みながらこの長編（上巻・下巻で約千ページ）を書き上げ、そして本書を「妻に捧ぐ」として2011年9月にこの世を去った。まさに氏の遺書とも言える本。昭和天皇に関することすべてを網羅して残そうという強烈な意欲で書かれたもので、（部分的には少し未整備な点が散見されるが）価値のある貴重な資料となるだろう。

私が個人的に関心を持っていた点、たとえば、皇位継承問題での側女の問題—（大正天皇は明治天皇の正室の子ではなく、二位の局、柳原愛子であった。大正天皇以後は側女制はなくなったが）、昭和天皇の母親である大正天皇の皇后—貞明皇后の（皇太后になってからも続いた）守旧派としての強い差配と干渉、昭和天皇とその弟宮たちとの間の不和（秩父宮や、特に高松宮との）、日支事変・太平洋戦争などの開始にいたる途次での天皇の判断と決断、マッカーサー元帥との接触と対応、敗戦の責任問題とくに天皇退位論（南原東大総長・木戸幸一もと内大臣・中曾根康弘議員等から提案された）をめぐる動向などでは理解が進んだ。

そのほか初耳だったのは、困った不行跡な宮様たち（典型が久爾宮朝融王、東久邇宮稔彦王、三笠宮寛仁親王）の存在や、天皇とマ元帥との会談の内容の一部がマスコミに漏れた問題で、通訳を務めた奥村勝蔵氏が犯人とされて辞任に追い込まれたが、実は犯人は白州次郎だったことなど。

「愚民社会」 大塚英志・宮台真司著 太田出版刊

2012年3月刊

現代におけるもっともとんがった論者2人による言いたい放題の座談である。たとえばこんな発言。—大塚一所詮『「土人」なんです、この国は。』—宮台—『僕は以前から、日本という国家レベルの再生は難しいので、国家が沈むプロセスを明確に記録として遺す必要があると申し上げてきています。』『任せて文句を垂れる作法』『空気に縛られる作法』『行政に従って褒美を貰う作法』をぶち壊さないかぎり此の国はダメ！』・宮台真司の学術的論法にやや辟易し、大塚英志の方がとっつきやすいなと思ったり。まあ、時にはこんな毒に溢れた本もよろしいんじゃないですか？

「福島第一原発—真相と展望」 アーニー・ガンダーセン著 岡崎 玲子訳 集英社刊 2012年3月刊

本書は著者とその妻に対して2011年10月に行ったインタビューに基づいて構成された。著者は米国の原子力関係で働き、実際に原発でも仕事をしていたが、1990年に放射性物質の管理に関して内部告発をして、原発関連の業界からは完全にシャットアウトされ、以後は原発の問題点を指摘する専門家として活躍している人。著者は2011年3月11日の事故について、直後の3月18日に米国のCNNテレビに出演して、『1～3号機の原子燃料はすべてメルトダウンしている、その被害の規模はチェルノブイリの事故と同程度と指摘した』という。此の時日本では東京電力も日本政府も、メルトダウンも無いし、チェルノブイリの事故のようなレベルの深刻な事故ではないと公表していたのだ。しかし結局事態は彼の指摘どおりであったのだ。

この本を読んで、本当に怖くなってきた。彼によると、事故の収拾は容易なことではないし、特に4号機の使用済み燃料プールにある燃料棒が怖いと言う。「東京の友人には4号機が崩れれば即座に逃げるよう助言している」というが、これは東京からということだけでなく、日本から逃げ出せということらしい。（読後の感想—お金があればハワイか豪州にでも移住したくなかった！）

日本の5大むかしばなしって知ってるかな？

☆桃太郎 ☆一寸法師 ☆花咲爺 ☆猿蟹合戦  
☆浦島太郎 ☆かちかち山 ☆かぐや姫  
☆舌切り雀 ちがうものはどれ？

もう、よんだ？ 年中年長さんへ

『アンガスとあひる』（福音館書店）

♥アンガスは子犬、何でも知りたがりや。君とおんなじだね。『こねこのぴっち』（岩波書店）もよんでみて！

『かいじゅうたちのいるところ』（富山房）

♥マックスといっしょにかいじゅうたちの世界へ行ってみよう！ ※このお話と絵をかけたセンダックさんは、5月8日に亡くなったけど、『まどのそとのそまたむこう』ほかたくさん楽しい絵本あるよ。

『ねえ、どれがいい？』（評論社）

♥思いもつかない質問いっぱい、あなたならどっちがいい？ これからの季節、ふなあそびもいいわね、『ガンピーさんのふなあそび』も同じバーニンガムさんが書いています。

『まっくらネリノ』（偕成社）

♥兄弟とちがう色をしているネリノ、いつもさびしいおもいをしてたけど、ある日……

『ゆかいなかえる』（福音館書店）

♥かえる出てきた？ かえるが大きくなっていくようすがよくわかります。

『わゴムはどのくらいのびるかしら？』（ほろぶ出版）

♥輪ゴムで遊んだことある？ 使い方によってはあぶないけど、この絵本の子は輪ゴムでとてつもないことをはじめます。おっかしい！

伊豆高原便りは来月のお楽しみ。

皆さんの身近な楽しいホット原稿、お待ちしております。

atsuko@big.or.jp 又は 03-3709-7840 FAX まで

## フィクション

『言語小説集』(井上ひさし著 新潮社 12)  
 『パンとスープとネコ日和』(群ようこ著  
 角川春樹シム書 12) 『花晒し』(北重人著  
 文芸春秋 12)  
 『ぼくが逝った日』(ミシェル・ロスタン著  
 田久保麻理訳 白水社 12) ※ゴンクール賞  
 処女賞 *request*

## エッセイ・文学的ノンフィクション

『柔らかな犀の角ー山崎努の読書日記』(山  
 崎努著 文藝春秋 12)  
 『リービ英雄大陸へ』(リービ英雄著 岩波  
 書店 12)  
 『おいで、一緒に行こう』(森絵都著 文藝  
 春秋 12)  
 『昔話と絵本』(石井正巳著 三弥井書店  
 11)

## 暮らし

『「空腹」が人を健康にする』(南雲吉則著  
 サンマーク出版 12) *request*  
 『コケはともだち』(藤井久子著 リトルモ  
 ア 11) ※著者より寄贈 『伊豆高原アー  
 トフェスティバルの不思議』(谷川晃一著  
 河合文化教育研究所 12) ※アートフェステ  
 ィバル事務局より寄贈

## 生きる(新書・文庫)

『西行ーその聖と俗』(火坂雅志著 PHP 研

究所 12) 『西行論』(吉川隆明著 講談社  
 文芸文庫 11 重刷) 『西行』(白洲正子著  
 新潮文庫 12 重刷) ※『西行花伝』(辻邦生著)  
 とあわせて読まれるとおもしろさ倍増!  
 『下山の思想』(五木寛之著 幻冬舎新書 12  
 重刷) ※*request* 『論語』(湯浅邦弘著 中公  
 新書 12) 『ふしぎなキリスト教』(橋爪大  
 三郎・大澤真幸著 講談社現代新書 11)

## 文庫

『わが母の記』(井上靖著 講談社 12) ※  
*request*・寄贈 『岬』(中上健次著 文芸  
 春秋 11 重刷) ※*request*・寄贈  
 『驚くところ』『詩と真実』(ちくま文庫<ち  
 くま哲学の森>)  
 『葬送 第1部上~第2部下』(平野啓一郎  
 著 新潮文庫 11 重刷) ※平野啓選シヨパン  
 のCDもお貸しできます。

『トーベ・ヤンソン短篇集』(富原真弓編・  
 訳 ちくま文庫 12 重刷)

『日本の歴史をよみなおす』(網野善彦著  
 ちくま学芸文庫 12 重刷) 『おとぎ話に隠さ  
 れた古代史の謎』(関裕二著 PHP 研究所 11  
 重刷)

## 大型本

『万葉集歌の力記』(徳間書店 12) ※雑誌で  
 す 『東山魁夷(現代の日本画)』(東山魁  
 夷著 学研 90) ※寄贈

## 絵本:

『いもとようこ うたの絵本1』(いもとよ  
 うこ絵 講談社)  
 『おしゃべりなたまごやき』(寺村輝夫作  
 長新太画 福音館書店) 『ジオジオのか  
 んむり』(岸田衿子さく 中谷千代子え 福  
 音館書店) 『じゅげむ』(川端誠作 ク  
 レヨンハウス) 『ふしぎなえ』(安野光雅  
 え 福音館書店)  
 『ハエをのみこんだおばあさん』(シムズ・  
 タバック作 木坂涼訳 フレーベル館)  
 『ゆうれいフェルピンの話』(リンドグレー  
 ン文 ヴィークランド絵 石井登志子訳  
 岩波書店) 『ガリバーの冒険』(井上  
 ひさし訳 安野光雅絵 文芸春秋 12) ※元  
 版は1969年に生まれていた?!

## 紙芝居

『うばすてやま』岩崎京子脚本 長野ヒデ  
 子絵 童心社) 『おやゆびトム』(岩倉千春  
 脚本 篠崎三朗絵 童心社)

## 読み物:

『赤い蠟燭と人魚』(小川未明作 酒井駒子  
 絵 偕成社) ※大人も喜ぶ絵  
 『真夜中のパーティ』(フィリパ・ピアス作  
 猪熊葉子訳 岩波少年文庫)  
 『東海道は日本晴れ 巻の二』(清水義範作  
 ひこねのりお絵 くもん出版) 『東海道  
 は日本晴れ 巻の三』(小佐田定雄作 ひ  
 こねのりお絵 くもん出版)

あと、昔話絵本を10冊ほど入れました。これは別  
 紙昔話絵本リストでお知らせします。